

カンボジア クリエイティブ産業振興のキーパーソンが来日 ～国内の芸術・文化機関関係者との対話とトークセッションを実施～

国際交流基金（JF）は、2025年8月26日（火）から12日間にわたり、カンボジア創造産業振興協会のエグゼクティブ・ディレクター、ソー・ピナ氏（Ms. So Phina）を招へいます。

ソー・ピナ氏は、かつての文化破壊の歴史を乗り越え、芸術や文化を国の力へと変えていく取り組みを進めるカンボジアにおいて、その最前線で活動しています。この来日では、日本のさまざまな芸術・文化機関の関係者やアートの現場、高校などを訪問しながら、**芸術と社会をつなぐエコシステムとしての創造産業のあり方、都市・コミュニティとアートの関係性**などを探ります。

また、8月29日（金）には横浜トリエンナーレに長年携わってこられた帆足亜紀氏とのトークセッションを実施します。「**文化芸術を、私たちが共生する社会の基盤としていくことは可能なのか**」——カンボジアの文化セクターの現況や、ご自身の芸術活動について発信いただきます。



ソー・ピナ氏の滞在中、インタビューなどのご取材が可能です。ぜひ、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

ソー・ピナ氏（Ms. So Phina）について

ソー・ピナ氏は、**カンボジアの豊かな未来の創造に向けて、芸術や文化を国の力へと変えていくことを目指し、社会と芸術をつなぐ創造産業の推進**に尽力されてきました。また、社会的・経済的基盤の脆弱な芸術関係者の創造環境を改善するため、政府との連携のもと、制度の整備や支援の拡充を呼びかける活動にも取り組んでこられました。

芸術を通して次世代の文化セクターのリーダーを育成するカンボジアン・リビング・アーツ（Cambodian Living Arts）では、6年間にわたり、文化的リーダーシップ、文化政策、芸術コミュニティ支援の推進に精力的に携わり、その経験が現在の活動の礎となっていると語っています。

ソー・ピナ氏は、ポル・ポト政権下の政治犯収容所で亡くなった女性の半生を描いた代表作『ボパナ』（*Bophana: The Flower that Never Wilts*、未邦訳）で知られる、**現代カンボジアを代表する作家・詩人**でもあり、いくつかの短編や詩が日本語にも翻訳されています。2017年には、カンボジアに活気ある文学のプラットフォームを築き、作家の社会的価値を高めることなどを目的として、作家仲間とともに**クメール文学フェスティバル**を創設しました。それ以降、同フェスティバルの開催に7回にわたって携わっています。また、国内の読者に質の高い文学作品を届けるため、独立系出版社カンブ・メラ（Kampu Mera Editions）を立ち上げるなど、文芸分野においても精力的に活動されています。

記

事業概要

事業名称：文化人短期招へい事業

主催：独立行政法人 国際交流基金（JF）

被招へい者：ソー・ピナ（Ms. So Phina）／カンボジア創造産業振興協会（Creative Industries of Cambodia Association for Development and Advocacy：CICADA）エグゼクティブ・ディレクター

招へい日程：2025年8月26日（火）～9月5日（金）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

訪問地：東京都、大阪府、京都府、奈良県
使用言語：英語（必要に応じて通訳付き）

日程（予定）

8月26日（火）	来日
8月27日（水）	【東京にて各所訪問】
– 29日（金）	東京都生活文化局、Mural City Project Koenji、日本芸能従事者協会、アーツカウンシル東京、その他関係者・機関等
8月29日（金）	文芸対話プロジェクト YOMU トークセッション 「語りはじめた文化 — カンボジア、芸術の最前線から」（於：国際交流基金）
8月30日（土）	【大阪／京都／奈良にて各所訪問】
– 9月3日（水）	ココルーム、大阪府立富田林高等学校、たんぼぼの家、京都市文化市民局、art space co-jin、クリエイティブセンター大阪、その他関係者・機関等
9月4日（木）	調整中
9月5日（金）	離日

※ 記載は訪問予定順です。

※ その他文化施設や機関・人物等への訪問を含めて現在、旅程を調整中です。最新情報については広報担当にお問い合わせください。

トークセッション詳細

タイトル：文芸対話プロジェクト YOMU トークセッション「語りはじめた文化 — カンボジア、芸術の最前線から」

実施日時：2025年8月29日（金）17時30分～18時30分 ※終了後、交流会を実施します。

会場：国際交流基金本部オフィス 1階 ロビーけやき

参加：無料、事前登録制

登録フォーム：<https://x.gd/0CS7d>

言語：日本語（英日は逐次通訳あり）

登壇者：ソー・ピナ／カンボジア創造産業振興協会エグゼクティブ・ディレクター、作家、詩人

帆足亜紀／横浜美術館国際グループ兼学芸グループ長、横浜トリエンナーレ組織委員会総合ディレクター補佐

事業について

「文化人短期招へい事業」は、オピニオンリーダーとして高く評価される諸分野の文化人を ASEAN 諸国から日本に約10日間招へいし、日本側の関係機関・関係者とのネットワーキング、面談・対談、メディア取材、講演会等を通じて、対日関心および理解を深めるとともに、本人の活動や魅力を国内に発信することを目的とします。ASEAN 諸国での対日関心喚起・親日感の醸成および日 ASEAN 友好関係の促進に向けた一助となることを目指します。

本年度は下記の文化人を招へい予定です（実施済みを含む）。

時期	招へい国	招へい者	役職など
5月	タイ	パット・ブンニティパット氏 Mr. Pat Boonitipat	映画監督（『おばあちゃんと僕の約束』）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

7月	ラオス	ヴァンペン・ケオパンニャー氏 Ms. Vanpheng Keopannha	ラオス国立博物館館長
8月	カンボジア	ソー・ピナ氏 Ms. So Phina	カンボジア創造産業振興協会エグゼクティブ・ディレクター、作家、詩人
10月	フィリピン	エリック・ゼルド氏 Dr. Eric Babar Zerrudo	フィリピン国家文化芸術委員会エグゼクティブ・ディレクター
1月	ミャンマー	サン・モン・アウン氏 Mr. San Mon Aung	出版社・書店経営者、詩人・作家、ミャンマーペンクラブ事務局長

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－について

JFは「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。JFでは2024年から10年間にわたってASEANを中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」を展開しています。

日本語パートナーズ事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

本招へいは、日本とASEAN間における次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施する「文化人短期招へい事業」によるものです。

次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－公式ウェブサイト (<https://asiawa.jpf.go.jp/>) では、これまでの取組を記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

SNSで国際交流基金の最新情報を発信中



[TheJapanfoundation](https://www.facebook.com/TheJapanFoundation)



[@thejapanfoundation](https://www.youtube.com/@thejapanfoundation)



[@japanfoundation](https://twitter.com/japanfoundation)



[@japanfoundation](https://www.instagram.com/japanfoundation)

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp